

はく落防止工法

特 長

特殊透明樹脂の採用により施工後の目視点検が可能

FF-TCC工法 V1仕様 (トンネル小片はく落対策)

- プライマーレスのため、1日で施工可能
- 1液性のため、計量、混合が不要

FF-TCC工法 V2仕様 (耐候性仕様)

- NEXCO構造物施工管理要領 はく落防止工適合
- 仕上げ材不要



施工前



施工後



貼付け後は透明となり、躯体状況が確認できます

使用シート

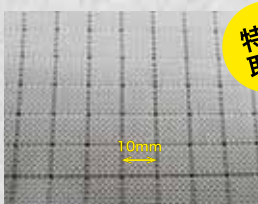
※V1仕様、V2仕様でシートが異なります

V1仕様: FFシートPT310



- 破断伸度が高い
- 透明性が高い

V2仕様: FFシートP210

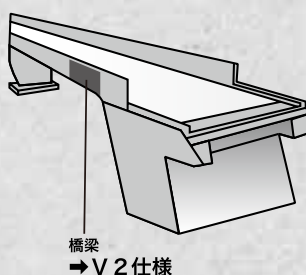


- カット時にほつれにくい
- 10mmピッチの模様があるため、カット長やラップ長の目安になる。
- 隙間があることにより、樹脂含浸性向上

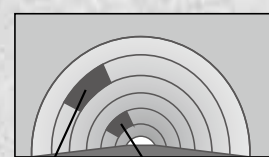
適用箇所

V1仕様→トンネル一般部 (坑門、坑口部以外)

V2仕様→橋梁、トンネル坑口部



橋梁
→V2仕様



トンネル坑口部
→V2仕様

トンネル一般部
→V1仕様

仕 様

※サンダーケレンなどの下地処理が必要

| 工 程 | 品名 (品番) | FF-TCC工法 V1仕様 | | FF-TCC工法 V2仕様 | |
|---------|----------------|---|----|--|----|
| | | 使用量 | 日数 | 使用量 | 日数 |
| プライマー塗布 | FFプライマー (P-15) | — | — | 0.15kg/m ² | 1日 |
| ダイン下塗り | FFダイン (D-CU) | 0.5kg/m ² | 1日 | 0.3kg/m ² | 1日 |
| シート貼付け | FFシート*1 | (PT310) 1.0m ² /m ² | | (P210) 1.0m ² /m ² | |
| ダイン上塗り | FFダイン (D-CU) | 0.1kg/m ² **2 | 1日 | 0.2kg/m ² | 2日 |
| 合 計 | | | | | |

※1 仕様によってシートが異なります

※2 省略可能

性能



押抜き試験状況 (V1仕様)

NEXCO小片はく落対策工の押抜き性能規定値である1.1kN載荷時の変位が50mm以下であることを満足しています。



押抜き試験状況 (V2仕様)

シートも樹脂も優れた伸び性能を有するため、優れた押抜き性能を発揮します。



延焼性試験状況 (V1仕様)

NEXCOはく落対策工の延焼性・自己消火性規定値を満足しています。

荷姿

| 品名 | 品番 | | 荷姿 | 備考 |
|---------|-------|------|----------|----------------|
| | V1仕様 | V2仕様 | | |
| FFプライマー | — | P-15 | 10kg/set | 2液性エポキシ樹脂 |
| FFダイン | D-CU | | 8kg/缶 | 1液性ウレタン系透明接着樹脂 |
| FFシート | PT310 | — | 1m×100m巻 | 高伸度型シート |
| | — | P210 | 1m×50m巻 | |

※V1仕様はプライマーは使用しません。

※V1仕様とV2仕様はシートが異なりますので、ご注意願います。

使用上および施工上の注意事項

- V1仕様は直射日光の当たらないトンネル内の小片はく落防止を対象にしております。
- FFダイン D-CU は、1液性の湿気硬化型のため、開封後は速やかに使用して下さい。
- 下地の不陸が大きい場合やあばた等がある場合は、その部分は白くなります。
- FFシート PT310 は裏表があります。メッシュ面(ロールの外側)を躯体側に貼り付けて下さい。
- V1仕様は雰囲気状況等により、樹脂硬化後、メッシュ部が部分的に白く見える場合がありますが、性能上には問題ありません。(右写真参照)
- 下地が濡れている場合は、接着強度が低下しますので、必ず乾燥させて下さい。
- 施工後、水の影響を受けた場合、樹脂が白くなる場合があります。
- 詳細は別紙「FF-TCC 工法施工要領書」を参照して下さい。
- 部分的な不陸修正が必要な場合は、MD ライトQをご使用下さい。



製造・発売元

前田工織株式会社

東京本社 / 〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1

東京営業部 芝パークビルA館12F

TEL.03-6402-3944 FAX.03-6402-3945

福井本社 / 〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目38-3

福井営業部 TEL.0776-51-9200 FAX.0776-51-9236

札幌支店 / TEL.011-733-3360 FAX.011-733-3365

仙台支店 / TEL.022-726-6670 FAX.022-726-6671

新潟支店 / TEL.025-250-7803 FAX.025-250-7806

名古屋支店 / TEL.052-971-8020 FAX.052-971-8021

大阪支店 / TEL.06-6201-0313 FAX.06-6201-0668

広島支店 / TEL.082-262-5555 FAX.082-262-5565

四国支店 / TEL.089-998-3577 FAX.089-998-3511

福岡支店 / TEL.092-282-1033 FAX.092-282-1035

盛岡営業所 / TEL.019-606-3386 FAX.019-606-3078

金沢営業所 / TEL.076-288-6077 FAX.076-288-6078

沖縄営業所 / TEL.098-860-3404 FAX.098-860-3418

岡山事務所 / TEL.086-805-0355 FAX.086-805-0357

鹿児島事務所 / TEL.099-295-3226 FAX.099-295-3256

<https://www.maedakosen.jp/mdk>